

## 資料編





1. 策定資料  
答申書

---

平成22年1月26日

大潟村長 高橋 浩人 様

大潟村審議会  
会長 北村 賢造

**大潟村総合村づくり計画の策定について  
(答申)**

平成21年8月27日に諮問のあった「大潟村総合村づくり計画」の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別冊「大潟村総合村づくり計画」のとおり答申します。

なお、計画の推進にあたっては、本村の更なる発展をめざし、具体的な方策を講じられ、全村民の参画により「豊かな自然 みなぎる活力 人いきいき 元気な大潟村」実現のため、着実な推進を図られるよう要望します。

## 大潟村審議会委員名簿

No.	委員氏名	所属先等	役員名	備考
1	仁 木 哲 二	大潟村教育委員会 委員長		
2	北 村 賢 造	大潟村農業委員会 会長	会長	
3	宮 崎 定 芳	大潟村農業協同組合 代表理事組合長		
4	後 藤 幸 三	大潟土地改良区 理事長		
5	森 田 勝 利	大潟村社会福祉協議会 会長		
6	加 藤 一	大潟村農業協同組合 専務	職務代理	
7	三 浦 均	ひだまり苑 施設長		
8	藤 田 勉	(株)カントリーエレベーター公社 代表取締役社長		
9	中 川 真 人	大潟小学校 校長		
10	小 松 睦 子	大潟中学校 校長		
11	舘 岡 紀 男	大潟村民生児童委員協議会		
12	石 川 正 子	大潟村民生児童委員協議会		
13	高 橋 重 男	大潟村消防団 団長		
14	山 崎 直 司	大潟村交通指導隊 隊長		
15	掛 田 壽	大潟村自治会長連絡協議会 会長		
16	小野寺 久 憲	大潟村情報発信者 代表		
17	菅 原 恒 紀	大潟村商工振興会 会長		
18	長 田 顕 司	大潟村農業近代化ゼミナール 会長		
19	小 林 正 明	大潟村農協青年部 部長		
20	佐 藤 正 一	大潟村身体障がい者協会 会長		
21	谷 直 方	大潟村老人クラブ連合会 会長		
22	佐 藤 金 治	耕心会 会長		
23	菅 原 アキ子	大潟村婦人会 会長		
24	高 階 成 子	大潟村婦人会 副会長		
25	土 田 崇 裕	大潟村青年会 会長		
26	菅 野 文 美	大潟村青年会		
27	佐々木 智 子	大潟村若妻会		
28	小 山 香	大潟村若妻会		
29	水戸部由紀子	大潟村PTA連絡協議会		
30	舘 岡 綱 樹	大潟村PTA連絡協議会		
31	工 藤 和 博	大潟村子ども会育成連絡協議会 会長		
32	佐 藤 忠 浩	大潟村体育協会		
33	馬 場 晶 寛	大潟村スポーツ少年団		
34	小 玉 弘 孝	大潟村芸術文化協会 副会長		
35	小 山 央	大潟村国際交流協会		
36	佐 藤 正 之	公募委員		
37	三 村 敏 子	公募委員		
38	菅 原 史 夫	公募委員		
39	斉 藤 幸 子	公募委員		
	佐 藤 了	秋田県立大学生物資源科学部長・研究科長	アドバイザー	

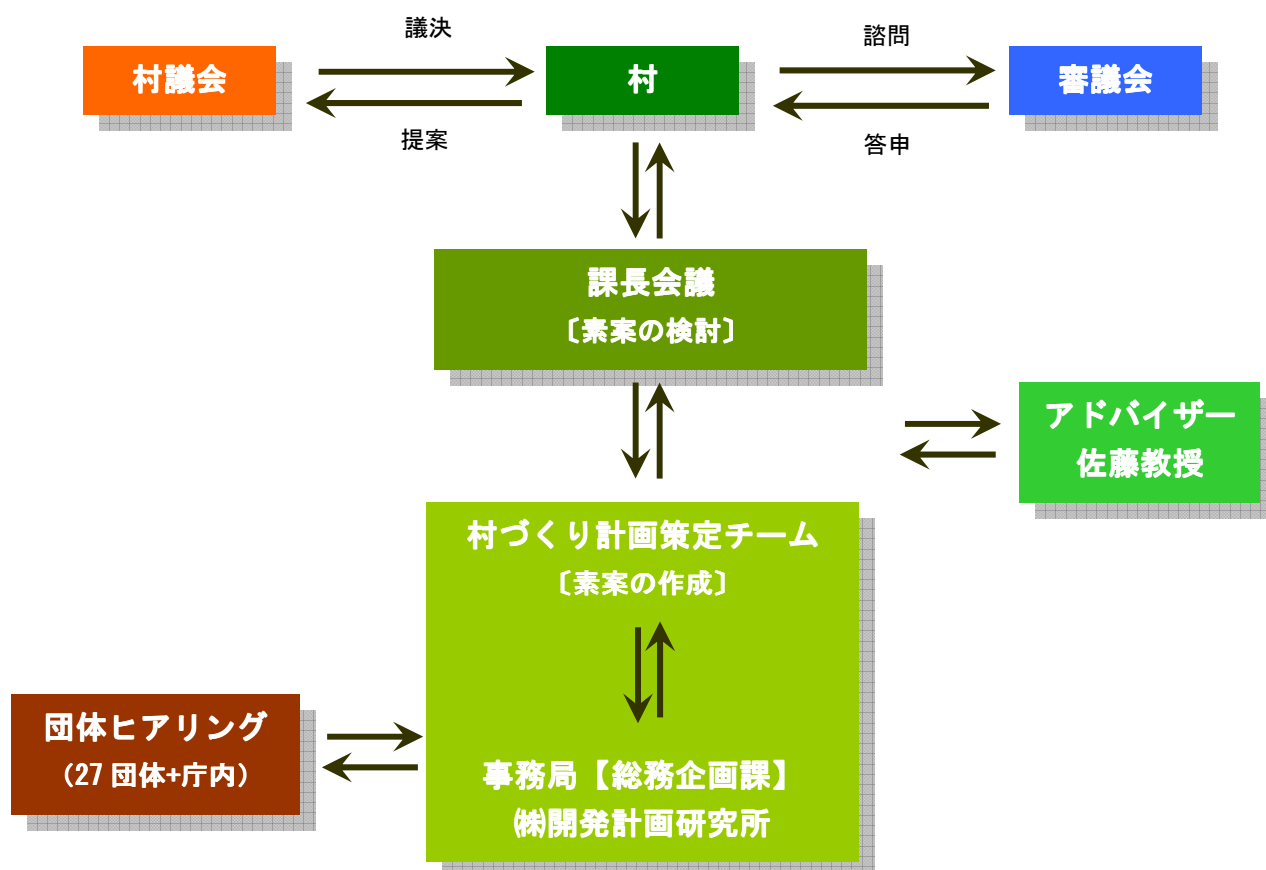
## 大潟村総合村づくり計画策定体制

### 組織体制について

大潟村総合村づくり計画の策定にあたっては、「大潟村審議会」を中心に策定作業を進めます。審議会での協議を円滑に進めるため、アドバイザーとして秋田県立大学の佐藤了教授を委嘱する他、※「村づくり計画策定チーム」を設置し、「課長会議」と共に素案の検討・作成作業にあたります。また、支援機関として「㈱開発計画研究所」と村づくり計画策定業務委託契約を締結し、村内団体ヒアリング、村づくり計画素案策定を進めます。

※ 村づくり計画策定チーム：村長が指名した職員とJ A・土改・社協・物産公社から推薦された職員で構成。

### 策定のフロー・シート



## 大潟村総合村づくり計画策定経過

平成 21 年	4 月	策定方針について協議
	5 月 15 日	総合村づくり計画策定に伴う支援機関として㈱開発計画研究所と策定業務委託契約締結 村内団体ヒアリング準備
	5 月 27 日	村づくり計画策定チーム設置
	6 月 3 日～	村内団体ヒアリング開始 村内 23 団体（JA 2 回）で実施
	6 月 26 日	ヒアリング終了 第 3 次振興計画基本計画の主要施策評価準備
	7 月 17 日	第 1 回村づくり計画策定チーム会議開催
	7 月 24 日	各課より第 3 次振興計画基本計画の主要施策評価提出
	8 月 3 日～4 日	主要施策評価を基に各課等ヒアリングの実施
	8 月 27 日	課長会議 審議会協議案件について
	8 月 27 日	第 1 回大潟村審議会 会長選出他 団体ヒアリング結果報告 意見交換 アドバイザー設置（秋田県立大学 佐藤了教授）
	9 月 9 日	第 2 回村づくり計画策定チーム会議 基本構想（案）について 団体ヒアリング結果と第 1 回審議会概要について
	9 月 10 日	追加ヒアリング 3 団体 高校生（7 名）実施
	9 月 16 日～17 日	第 3 回村づくり計画策定チーム会議 基本構想（案）について
	9 月 25 日	第 2 回大潟村審議会 基本構想（案）について
	10 月 13 日	第 4 回村づくり計画策定チーム会議 基本構想修正（案）について
	10 月 23 日	第 5 回村づくり計画策定チーム会議 基本構想修正 基本計画体系（案）について
	10 月 30 日	課長会議 基本構想の修正 基本計画体系（案）について
	11 月 5 日	第 3 回大潟村審議会 基本構想・基本計画体系（骨子案）について
	11 月 13 日	第 6 回村づくり計画策定チーム会議 基本計画の策定について
	11 月 17 日～18 日	課長会議・第 7 回村づくり計画策定チーム合同会議 基本構想（案）の修正・基本計画体系（案）の修正について
	11 月 20 日	第 8 回村づくり計画策定チーム会議 基本構想（案）の修正・基本計画体系（案）の修正について
	11 月 26 日	第 4 回大潟村審議会 基本構想（修正案）について 基本計画体系と施策の方針概要について
	12 月 15 日	議員への説明会
	12 月 17 日	課長会議・第 9 回村づくり計画策定チーム合同会議 大潟村総合村づくり計画（案）について
	12 月 24 日	第 5 回大潟村審議会 大潟村総合村づくり計画（案）について
	12 月 29 日	議員との意見交換会
平成 22 年	1 月 18 日	課長会議・第 10 回村づくり計画策定チーム会議 大潟村総合村づくり計画（案）について
	1 月 19 日	第 6 回大潟村審議会 大潟村総合村づくり計画（案）について
	1 月 26 日	大潟村総合村づくり計画（案）を村長に答申
	2 月 2 日	村議会臨時会で可決



- 行政との密接な連携
- 自前の企画能力の醸成
- 考えるよりこなすのが実状
- 新しいメンバーが入ってこない
- メンバーの意欲が減衰
- 指導員の少なさと、激しい人の入れ替え
- ※レスパイトケア対策が必要
- 行政担当者、課の対応がにぶい
- 「金を出せばよい」とする風潮

※ レスパイトケア：休職・息抜きなどを意味する。要介護高齢者や障がい者（児）を介護する家族に対し、一時的に介護を離れて心身のリフレッシュを図り、ストレスを軽減する場合の支援。

#### 4-2. 大潟村に対する現状認識

##### ①住み良さ、定住意向

ヒアリング対象の多くの方々は「住みよい」「住み続けたい」とする意向を強く持つ。良好な自然環境、経済的余裕、助けあい、近所づきあい、しがらみがな  
い等を背景に

##### ②大潟村のイメージ — 総じて肯定的イメージを持つ

「文化の村」、「生活が豊かな村」、「農業者としてのプロ集団」  
「星のきれいな村」、「やる時はやる、がんばる時はがんばることができる村」  
「団結力のある村」、「仕事を通じて四季を感じるができる村」  
「風に見える村」、「パイオニア」、「情熱の村」、「自己実現できる村」、  
「ちっちゃく大きな村」、「雄大」、「まとまりのある村」、「匠の村」、  
「金持ちの村」、「人工的な村」、「空の広い村」、「自立している村」、  
「挑戦・進取の精神のある村」、「つくられた村」、「異文化の村」、  
「100%水洗の村」、「秋田で一番きれいな言葉をいう村」  
「自然豊かな村」、「たくましい村」、「おおらかな村」  
「人工の大地」、「あったかい村」、「とりのこされた村」

③村民に欠けている点

- 一次入植者のもっていた「気概」の希薄化傾向
- 若い人達に農業に対する危機感がない
- 協調性や団結力に欠ける
- 農家間の格差の発生
- 大潟村のイメージ（減反問題に関して村が二分したことが原因か）
- 心の底がわからない
- ちょっと話したことがすぐに広がる
- 金銭感覚の欠如
- 金で解消しようとする思考
- 連帯感の欠如
- 地道さ
- おごり
- 自分のことを知らない

→ 意識、連帯といった「こと、ひと」に係わるものと「かね」に係わる問題提起が示されている

④これまでの政策に対する満足度

【満足度の高い政策】

- 福祉分野
- 合併しなかったこと など

【満足度の低い政策＝不満、やや不満】

- 村が二分してしまった作付問題
- 議員定数
- 農家間格差を発生した政策
- 診療所の体制
- 情報伝達の方法
- 用水路の水汚染
- 堤防周辺の不十分な整備
- 計画性、実現性をもって取り組みをしてこなかったこと など

→ 個別具体的な機能や分野に対する指摘と村づくり政策のあり方に係わる分野において満足度が低くなっている。

#### 4-3. 大湊村の将来方向と重点施策

##### ①大湊村の将来像のイメージ

- 子供達が喜んで住む村
- 若者が定着し、安心して農業が続けられる村
- 新しい型の農業モデルー若い人が喜んで農業ができるような新しいタイプの農業モデルを作ってほしい
- 守る農業からもう一度開拓する農業
- 農業で生きてきたので今後も農業で生きていきたい
- 農業が続けられる村
- 働く場のある村（農業に関連する加工工場等がある）
- 若い主婦でも村内で働ける仕事があればよい
- 安心して働ける就労環境の整備（保育園等の保育時間など）
- 人口減少にならない村
- 農業振興
- いつまでも農村であってほしい
- がんばる人ががんばれる村であって欲しい
- 新しい豊かさを探求できる村
- 健康で長生きできる村
- 百姓を続けられる村ー農業立村
- 二・三男が定住できる村
- 格差の解消
- 結の精神の再生
- 住区単位のむらおこし活動
- 人間味のある村づくり
- 生命の源をつくっている村
- バイタリティーのある村
- 福祉の村

→ 農業を基軸とした村づくりが基本。ひととひとのつながりを大事にする村づくりが続く。

##### ②力を入れるべき分野・施策

- 子ども（二・三男）や孫世代が住める村にするためには工場の誘致等、雇用の場の確保ー特に農業関連の企業
- 水の浄化政策
- 医療機能整備のあり方の再検討

- 村民の交流を改めて深めるために村民運動会、盆踊りの復活
- 「住区のさなぶり」のあり方の再考
- 子育てのしやすい環境整備
- 産品ブランドから「地域ブランド」づくりを
- 情報発信力の強化
- 地域賦存資源の見直し、再発見
- 農業自立化経営モデルの検討
- 農業支援体制の確立
- 子どもを生める村づくり
- 自然エネルギーを活用する村
- 村の発展を考える母体が必要
- 農産物輸送の拠点づくり
- 田の面積拡大（県有地の活用）
- 雇用の確保
- 加工産業の充実
- 子どもがもどれる村づくり
- 大潟DNAの継承
- 特長のある村づくり…屋根の色の統一など

→ 二・三男や孫が定住できる場づくり、新しい「結」の<sup>こころ</sup>精神づくり、地域ブランドづくりなどが主な分野・施策となっている

#### 4-4. 村政への関心と分野

- 多くのヒアリング対象者は興味を持っているといえる
- 一方で声を上げてもどのように反映されているのかわからないとする人も多い
- 関心のある分野として、農政、教育、議会の動向、各種助成金

#### 4-5. 日常的な交流実態

- 性別、年齢に関係なく特に趣味のグループに複数参画しているケースが極めて多い
- これは心を許した心底からのつきあいができる仲間の輪の特性をもつ
- また、子どもを通してのつきあいも多い
- この一方、住区内の付き合いが薄くなっている。改めて、住区が基本単位でもあることから住区内の付き合いを大切にし、お互いを認め合うことが大事となっている

- この様な交流には、横のつながりは強化されるものの（ネットワーク的）世代間の交流活動は薄くなっている
- 大潟村民の第3の社会資本と言われる社会関係資本は主に、趣味のグループを主体とした相互信頼関係により成り立っており、判断する、考える、意志表示するなどといった交流における信頼関係は薄いと言える

#### 4-6. 総合計画立案に当たっての意見・要望

- 各グループ、団体から1名の参画では意見を言いにくいので、2名の参加を望む
- わかりやすい言葉を使って欲しい
- 策定過程をもっと知りたい
- 検討会等には年齢層に配慮した男女半々位の構成に配慮すべきでは
- 計画立案だけでなく実施・行動に移して欲しい
- 日本最後の「村」として残せるような村づくりを期待する
- ※P D C Aサイクルの実施を
- 実行力のある計画づくりを
- 「夢」をもてる様に

※ P D C Aサイクル：Plan(計画)、Do(実施・実行)、Check(点検・評価)、Act(処置・改善)の4段階を順次行って1周したら、最後の Act を次のP D C Aサイクルにつなげ、螺旋を描くように1周ごとにサイクルを向上させて、継続的に業務改善する。

## II. 高校生に対するヒアリング結果

### 1. 対象

・高校生7名（男性3名、女性4名、いずれも高校2年生）

### 2. ヒアリング結果概要

①自分の将来像（7名とも自分の将来像・目標をもっていた。）

- 進学（分野、地域）して将来こういう職業につきたい
- 大潟村に戻りたいとする生徒は2名

②大潟村のイメージ

- 周辺の情報が入ってこない
- 閉鎖的
- 陸の孤島

- 偏見、近所づきあいの難しい村
- 村以外の人は入ってこない=友人のちがいがいい

### ③大潟村に欲しいもの

- コンビニ
- バス路線、鉄道駅
- 集中できる勉強スペース（児童館の再利用）

### ④大潟村のほこれるもの

- 米
- 面積
- 温泉
- カギ 閉めなくても安全
- パンプキンパイ
- 仲間がいい、人がいい

### ⑤大潟村の将来像

- 帰りたくなる村
- ほっとできる村（産業発展しなくても）
- 変化のない村
- 活気のある村=不安がない村
- 産業が発展して欲しい
- いいところは残し、ダメなところはよくする村ー帰ってきたい気持ちがあるので

### ⑥大人になおして欲しいところ

- 他人を詮索する気持ち
- 「外から来た人」と言って欲しくない
- 偏見の目
- この村では通用しない常識がある…交流がないのが原因では？そのためには観光からはじめる。外からの目を入れる
- 既成概念の打破

## 大瀧村人口推計

推計年 年齢階層	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
0 - 4	130	130	130	124	122	110	111	110
5 - 9	169	164	150	147	134	130	126	122
10 - 14	197	194	197	191	194	169	175	166
15 - 19	265	245	240	237	246	285	231	211
20 - 24	119	124	119	135	142	144	171	188
25 - 29	115	134	148	148	145	92	88	80
30 - 34	143	121	104	89	74	120	131	140
35 - 39	218	204	194	178	163	145	124	107
40 - 44	233	252	241	238	237	217	204	195
45 - 49	197	204	222	213	212	223	243	234
50 - 54	165	164	174	185	188	192	198	214
55 - 59	157	145	145	146	149	159	158	167
60 - 64	273	282	246	205	181	157	144	143
65 - 69	240	219	232	239	245	262	270	236
70 - 74	222	226	239	234	241	221	202	215
75 - 79	160	164	168	176	193	204	207	217
80 - 84	91	109	118	130	128	137	138	145
85 -	111	118	118	117	123	137	151	162
<b>計</b>	3,205	3,199	3,185	3,132	3,117	3,104	3,072	3,052

## 大湊村の出生率の変化

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
出生数	38	32	38	35	36
女性人口	707	671	668	654	654
出生率1	1.86	1.45	2.06	1.91	1.85
全人口	3,233	3,218	3,299	3,264	3,277
出生率2	11.8	9.9	11.5	10.7	11.0

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出生数	35	22	33	36	30
女性人口	656	652	611	625	621
出生率1	2.06	1.21	1.98	2.42	2.22
全人口	3,296	3,300	3,239	3,282	3,308
出生率2	10.6	6.7	10.2	11.0	9.1

- \* 女性人口：15～49歳の人口
- 出生率1：合計特殊出生率
- 出生率2：千人当たりの出生数

【人口に関しては電算データをもとにしてありますので届出日の関係で広報等の数と異なることがあります。】

- \* 人口は3月31日現在のものを使用

## 周辺市町村との行政サービス負担比較

(単位：円)

区 分		公営住宅料	上水道料	下水道料	幼・保育料	保・保育料		国保税	介護保険料
		木造・約72㎡	20㎡/月		月額	3歳未満	3歳児	一人当たり	(基準月額)
男鹿市	料金	39,400	2,793	3,150	5,000	52,900	33,300	68,313	4,934
	指数	156	67	69	100	150	113	62	120
五城目町	料金	29,500	3,920	2,310	5,000	40,000	29,000	64,372	4,920
	指数	117	94	51	100	113	98	58	120
潟上市 昭和	料金	41,500	2,173	1,995	5,500	51,000	35,000	70,559	4,700
	指数	164	52	44	110	144	119	64	115
八郎潟町	料金	43,300	5,040	3,150	4,500	80,000	46,400	72,123	4,850
	指数	171	121	69	90	226	158	65	118
潟上市 飯田川	料金	44,000	2,816	2,362	5,500	51,000	35,000	70,559	4,700
	指数	174	67	52	110	144	119	64	115
潟上市 天王	料金	26,000	3,106	2,833	5,500	51,000	35,000	70,559	4,700
	指数	103	74	62	110	144	119	64	115
井川町	料金	30,700	3,460	3,000	7,000	80,000	46,490	70,168	4,200
	指数	121	83	66	140	226	158	64	102
大潟村	料金	25,300	4,173	4,562	5,000	35,330	29,450	110,313	4,100
	指数	100	100	100	100	100	100	100	100

(大潟村調べ)

- ①公営住宅料： 階層家賃の収入月額を186,001～214,000円に設定。
- ②水道料： 五城目町並びに潟上市については、事業者が複数あるため平均とした。
- ③下水道料： 潟上市については、地区により異なるため平均とした。
- ④幼・保育料： 教材費等は除く。  
男鹿市は私立のみ。  
潟上市昭和・潟上市飯田川は、保育園のみ或いは幼保一体のため、保育料3歳以上と設定。
- ⑤保・保育料： 階層区分を国の第7階層に設定。
- ⑥国 保 税： 単に国保加入者1人当たりの金額(H19)。なお、国保税は所得割や資産割、加入世帯などにより算出されますので、単純に比較できない面があります。
- ⑦介護保険料： 平成21年度基準月額。
- ⑧各区分指数： 大潟村を100とした場合の値

## 総生産額と所得水準の推移

区分	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
第1次産業総生産額	10,063	8,869	8,409	8,357	8,183
第2次産業総生産額	1,081	2,080	2,210	1,903	1,919
第3次産業総生産額	10,085	9,874	9,924	9,963	10,239
村所得水準	4,224	3,724	3,542	3,619	3,639

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
第1次産業総生産額	10,111	5,784	7,728	7,142
第2次産業総生産額	1,260	2,080	3,371	2,926
第3次産業総生産額	10,316	10,199	10,266	10,121
村所得水準	4,226	2,966	3,613	3,394

(秋田県市町村民経済計算年報より)

\* 総生産額 (単位: 百万円) 所得水準: 住民1人当たりの分配所得額 (単位: 千円/人)

## 農家経営の推移

(単位：千円・ha)

区分	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
粗収益	31,045	30,275	27,319	32,364	31,358	30,852	25,691	24,576
経営費	15,941	16,071	16,366	17,965	17,307	17,217	14,741	14,962
所得	15,104	14,204	10,953	14,399	14,051	13,635	10,950	9,614
平均耕作面積	14.89	15.07	15.91	15.68	15.77	15.88	15.68	16.24
10a所得	101.4	94.3	68.8	91.8	89.1	85.9	69.8	59.2
10a所得指数	100	93	68	91	88	85	69	58

区分	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
粗収益	27,318	26,954	29,835	20,029	26,086	24,503	24,294
経営費	14,278	14,270	15,511	14,719	13,976	14,091	13,227
所得	13,040	12,684	14,324	5,310	12,110	10,412	11,067
平均耕作面積	15.09	15.30	15.27	15.32	15.21	15.32	15.21
10a所得	86.4	82.9	93.8	34.7	79.6	68.0	72.8
10a所得指数	85	82	92	34	78	67	72

- ※ ①八郎潟中央干拓地入植農家経営調査報告書（調査対象農家：10戸）  
 ②平均耕作面積：畦畔等を除く作付可能面積  
 ③指数：最も所得の高かった平成5年を100とした数値

## 農協の貯金及び貸出金の推移

(単位：千円・人)

区 分		平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
貯金	残 高	13,895,714	13,514,718	12,679,023	13,281,965	13,716,811
	農家戸当り	24,166	23,627	22,244	23,466	24,278
	指 数	100.00	97.26	91.24	95.58	98.71
貸出金	残 高	6,616,416	8,052,740	11,308,553	10,909,291	11,072,652
	農家戸当り	11,507	14,078	19,840	19,274	19,598
	指 数	100.00	121.71	170.92	164.88	167.35
貯 貸 率		47.61%	59.58%	89.19%	82.14%	80.72%
農 家 戸 数		575	572	570	566	565
区 分		平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
貯金	残 高	13,176,454	12,906,104	12,938,151	13,749,627	14,908,911
	農家戸当り	23,404	23,006	23,228	24,819	27,058
	指 数	94.82	92.88	93.11	98.95	107.29
貸出金	残 高	11,819,996	12,709,594	12,715,868	11,348,671	9,681,527
	農家戸当り	20,995	22,655	22,829	20,485	17,571
	指 数	178.65	192.09	192.19	171.52	146.33
貯 貸 率		89.71%	98.48%	98.28%	82.54%	64.94%
農 家 戸 数		563	561	557	554	551
区 分		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
貯金	残 高	15,819,395	16,320,936	16,862,750	17,102,240	19,231,844
	農家戸当り	28,658	29,567	30,660	31,152	35,095
	指 数	113.84	117.45	121.35	123.08	138.40
貸出金	残 高	9,230,775	9,875,667	10,281,902	10,301,067	9,901,405
	農家戸当り	16,722	17,891	18,694	18,763	18,068
	指 数	139.51	149.26	155.40	155.69	149.65
貯 貸 率		58.35%	60.51%	60.97%	60.23%	51.48%
農 家 戸 数		552	552	550	549	548
区 分		平成20年				
貯金	残 高	20,804,775				
	農家戸当り	38,034				
	指 数	149.72				
貸出金	残 高	9,758,819				
	農家戸当り	17,841				
	指 数	147.49				
貯 貸 率		46.91%				
農 家 戸 数		547				

(JA大潟村調べ)

## 観光客（交流人口）の推移

(単位：人)

年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	備考
観光客数	962,720	885,289	1,230,755	1,608,091	1,256,895	1,194,402	
指数	100.00	91.96	127.84	167.04	130.56	124.07	

年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	備考
観光客数	1,218,545	1,186,654	1,101,712	1,138,524	1,104,655	1,055,674	
指数	126.57	123.26	114.44	118.26	114.74	109.66	

(大潟村調べ)

※ 平成12年は、産直センター・干拓博物館のオープン年

財政推計

【歳入】

(単位：億円)

項 目	H20 決算	H21 見込	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
村 税	7.0	7.1	7.0	6.9	6.8	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
地方交付税	11.8	12.0	12.1	11.7	11.2	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8
その他交付金	1.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
国県支出金	1.7	6.1	3.9	5.3	4.8	3.1	1.7	1.7	1.7	1.7
使用料等	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
繰入金(基金)	1.5	0.1	0.0	1.6	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
村 債	2.1	2.0	5.3	9.5	6.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
歳入計(A)	29.3	31.9	32.9	39.6	39.7	26.7	23.8	23.8	23.8	23.8

【歳出】

(単位：億円)

項 目	H20 決算	H21 見込	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人 件 費	4.8	4.9	4.7	4.6	4.6	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7
扶 助 費	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2
公 債 費	4.2	2.5	2.8	3.1	6.9	2.7	2.8	2.8	2.9	2.8
物 件 費	5.7	7.6	6.3	6.3	6.3	6.3	7.0	6.3	6.3	6.3
維持補修費	0.7	1.1	1.3	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
補助費等	4.8	5.8	5.1	5.1	5.1	5.1	4.8	4.8	4.8	4.8
積 立 金	3.5	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
繰 出 金	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
投資的経費	1.6	5.0	10.1	17.3	14.8	4.2	1.6	2.5	1.4	2.7
歳出計(B)	27.7	30.3	32.8	40.6	41.9	27.4	25.2	25.4	24.5	25.8

財源過不足額 (C) = (A) - (B)	1.6	1.6	0.1	▲ 1.0	▲ 2.2	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.0
---------------------------	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

積立額(見込)	3.5	1.6	1.7	2.0	2.0	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2
取り崩し額	1.5	0.1	0.0	2.6	8.2	0.7	1.4	1.6	0.7	2.0
残 高	8.7	10.2	11.9	11.3	5.1	5.7	5.5	5.1	5.6	4.8

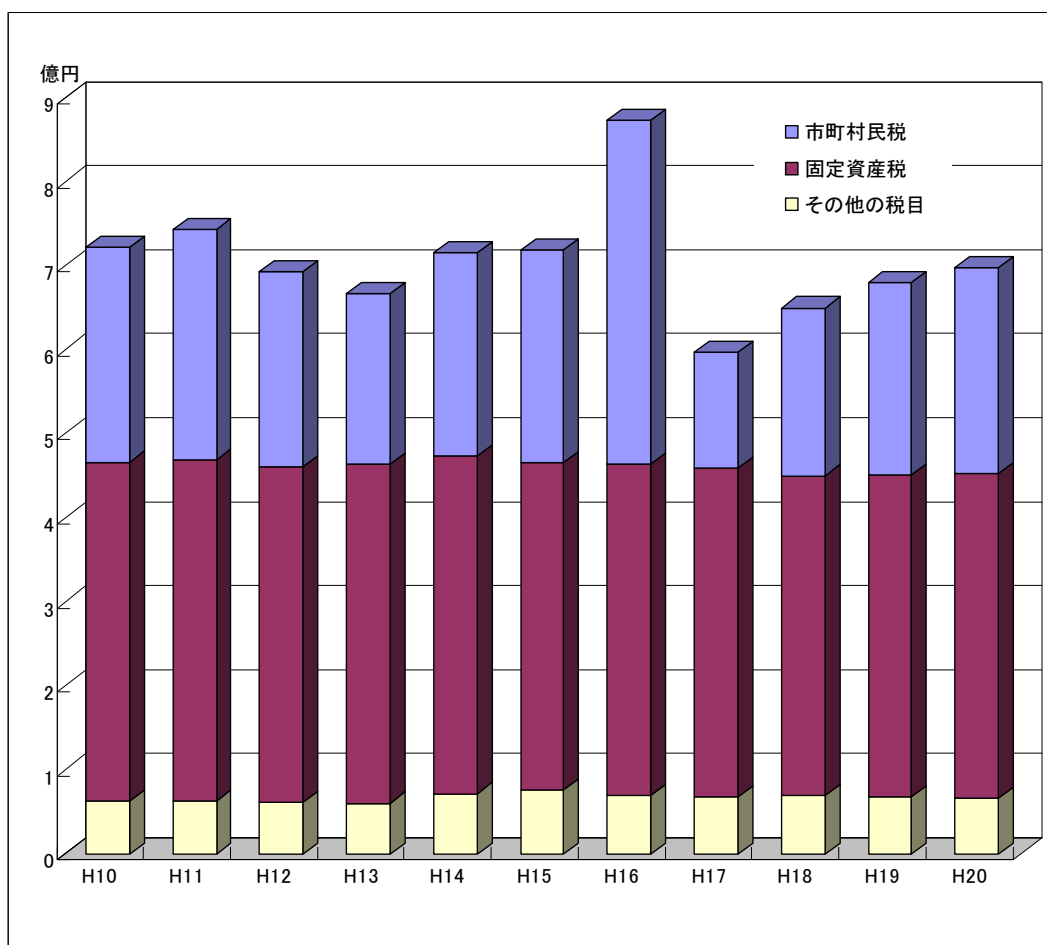
## 村税決算額の推移（国民健康保険税を除く）

（単位：千円）

税目	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
市町村民税	255,447	275,147	232,071	202,991	241,938	252,314
固定資産税	403,612	405,761	399,649	404,265	402,668	391,032
その他の税目	63,475	63,296	61,662	60,947	72,297	75,773
合計	722,534	744,204	693,382	668,203	716,903	719,119

税目	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
市町村民税	410,144	138,142	199,613	228,820	245,474
固定資産税	394,002	392,082	381,706	383,795	387,525
その他の税目	70,176	68,221	69,204	67,997	66,040
合計	874,322	598,445	650,523	680,612	699,039

（地方財政状況調査（決算統計）06表より）



	<p><b>「村章」の意味</b></p> <p>大湊村の「オ」の文字を図案化したもので、限りない大湊村の躍進を象徴しています。昭和44年7月1日、応募作品のなかから選定されました。</p>
	<p><b>村の花：『サルビア』</b></p> <p>花いっぱい運動を通じて多くの住区などで栽培されるサルビアは、鮮やかな色彩で集落地内一円に初夏から秋まで咲き誇り、生活環境を明るく鮮やかに印象づけます。村民が情熱をこめて村づくりに邁進する大湊村にふさわしい花です。</p>
	<p><b>村の木：『黒松』</b></p> <p>村内の道路沿い、集落地などに植栽された幼木が風雪に耐え、たくましく成長しました。村を日本海の強風から守る防災の効果とともに環境の美観を高め、村になくてはならない、伸びゆく大湊村にふさわしい樹木です。</p>
	<p><b>村の鳥：『白鳥』</b></p> <p>満々たる水をたたえた八郎潟に古い時代から毎年渡ってきています。干拓後も残存湖に飛来し、周辺住民からも愛されています。遊泳したり空を飛び交う優雅で格調の高い姿は村民の心をなごませ、大湊村のシンボルにふさわしい鳥です。</p>